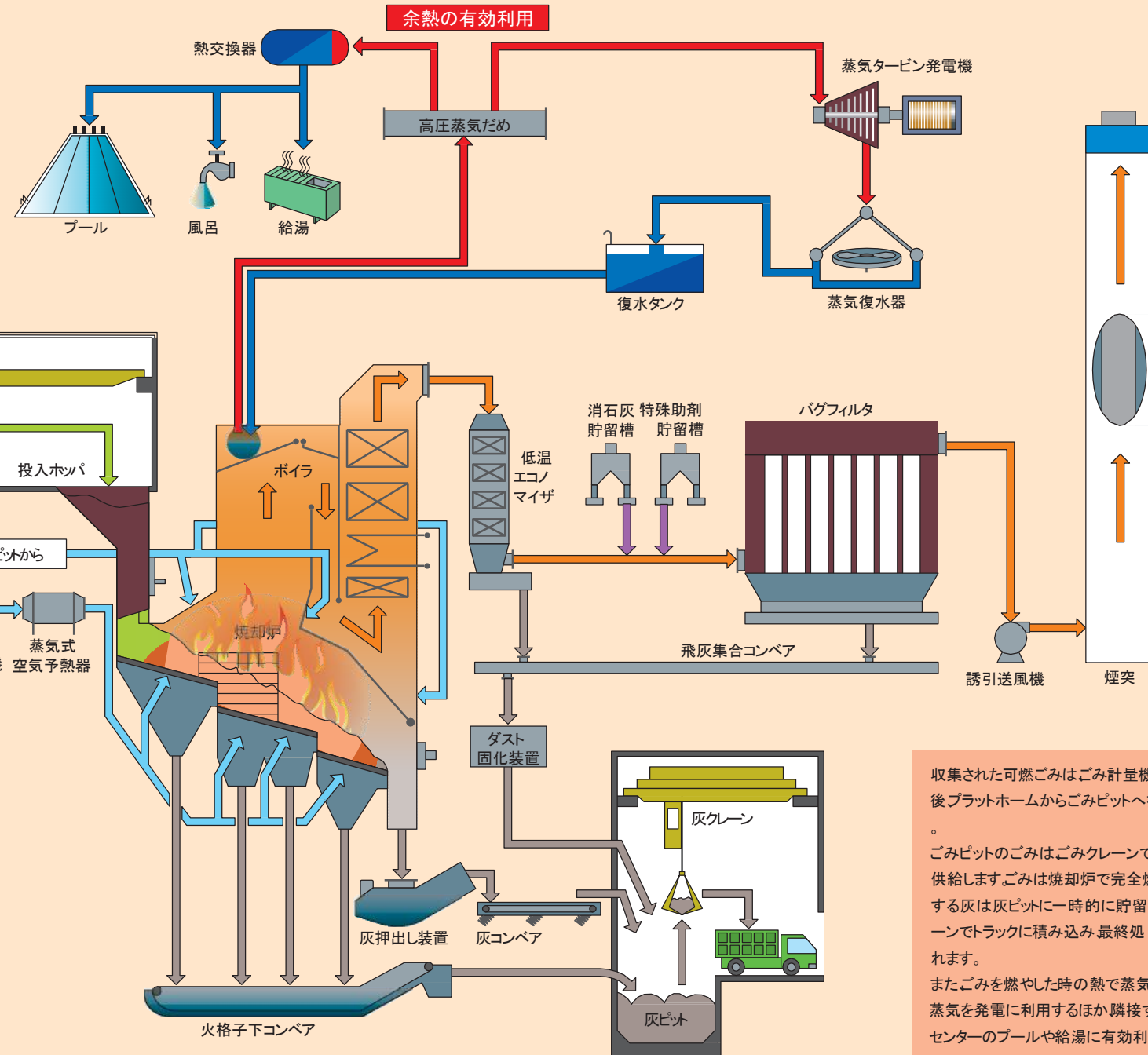


焼却施設 処理の流れと設備



● 中央制御室
焼却炉の運転操作 公害防止機器の監視制御などを行います。



収集された可燃ごみはごみ計量機で計量した後プラットホームからごみピットへ投入します。ごみピットのごみはごみクレーンで焼却炉へ供給します。ごみは焼却炉で完全燃焼し、発生する灰は灰ピットに一時的に貯留した後、灰クレーンでトラックに積み込み最終処分場へ運ばれます。またごみを燃やした時の熱で蒸気を作り、この蒸気を発電に利用するほか隣接するスポーツセンターのプールや給湯に有効利用しています。

● バグフィルタ



排ガスの中のばいじんはバグフィルタで微細なばいじんまで取り除きます。

● 蒸気タービン発電機



焼却熱で発生させた蒸気を利用した蒸気タービン発電機で発電し、施設で利用します。

● 灰ピット・灰クレーン



焼却灰は一旦ピットに貯留したのちに、灰クレーンでトラックに積み込み、最終処分場へ運ばれます。

● ごみ計量機



収集したごみの重量を計量しコンピュータで分類集計します。

● プラットホーム



収集したごみはごみピットへ投入します。

● ごみピット・ごみクレーン



ごみピット内に一旦貯留したごみはごみクレーンで攪拌し、投入ホッパから焼却炉に投入します。

● 焼却炉



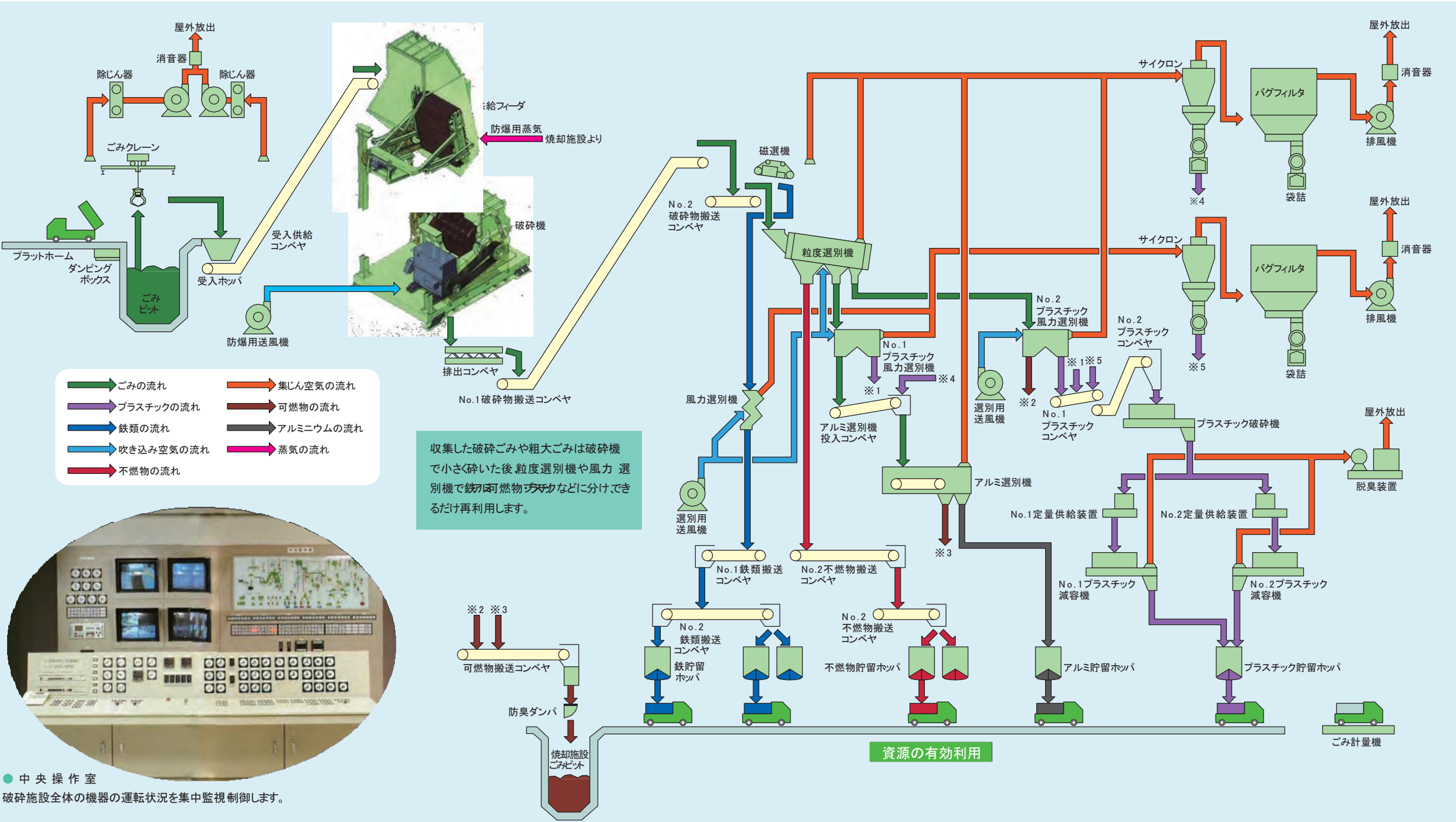
ごみは約800～950℃の高温で自動燃焼制御で完全に焼却します。

● ボイラ



ごみ焼却で発生する熱エネルギーはボイラで蒸気に変換します。

破碎施設 処理の流れと設備



選別されたプラスチックを減容固化します。



風力で可燃物及びプラスチックを選別します。



粒度選別機で選別されたごみからアルミを回収します。